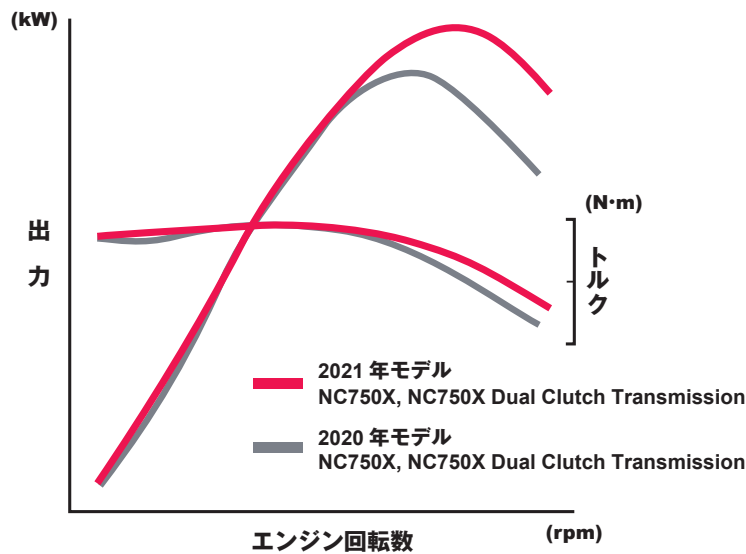


●出力特性

扱いやすい特性を持つ従来NCシリーズ水冷4ストロークOHC4バルブ直列2気筒745cm³エンジンの基本諸元を継承。新設計のピストンをはじめとする軽量化と吸排気系の見直しによりレッドゾーン入口回転数を2020年モデルNC750Xの6,400rpmから7,000rpmへと引き上げ、最高出力を40kW/6,250rpmから43kW/6,750rpmに向上させました。またバルブタイミングの見直しと併せ、スロットルバイワイヤシステム(別項)の採用による出力制御により爽快なエンジンフィールを獲得しました。

■出力特性比較イメージ



●軽量化

ピストンは裏面を肉抜きすることで軽量化を図り、往復部の慣性力低減により高回転化に大きく寄与しています。またそれに伴うクランクのカウンターウエイト重量最適化や、2軸1次バルンサー軸径の見直し、さらにバックラッシュ精度を確保することでセラシ機構を廃止したバルンサーギアなどにより、エンジン単体で2020年NC750Xより1.4kgの軽量化を実現しています。

■ピストン

